

本会議から当委員会に付託された案件は、議案6件、継続分を含めた陳情3件の9件である。

■平成21年度仙北市
簡易水道事業特別会
計への繰入額の変更
について

255万3,000円の追加については、西木町、小波内浄水場で、7月豪雨により、自動運転が出来なくなり、手動運転となったため、濾過材（砂）の入れ替えをする経費である。

■仙北市一般会計補正予算について

労働費

問 仙北市雇用促進創造推進協議会運営費補助金の見通しはどうか。

答 12月1日から始まる事業の準備補助金、緊急雇用対策の一環として、観光業振興、農林業振興、商工業振興の3つの分野で雇用機会の創出と求職

者の就職促進を目的として、厚生労働省へ事業申請するものであり、市や商工会等11団体で構成す

問 緊急雇用対策の販路

拡大対策事業、ふるさと雇用対策の観光誘客事業、コンベンション等誘客推進事業、自然体験プログラム・プロガイド育成事業についてのそれぞれ内容について聞いた。

答 緊急雇用対策の地域特産物販路拡大等対策事業費は、11月から3月迄の5ヶ月間の雇用する人の人件費である。仕事の内容は地場産品の取り扱い補助や販路拡大の情報データ収集等の作業である。観光宣伝誘客事業については観光客の誘致を目的として角館フィルム



泥水流入により被害があった小波内浄水場

コミッションと連携し映画・テレビで必要とされる、ロケーション場所等地域情報データベース化をはかる。コンベンション等誘客推進事業の内容は各種の会合を市に勧誘するための受け入れ体制の調査研究を進めて、本市への合宿、学習旅行の開催等で来訪者の拡大を図る目的の事業である。

自然体験プログラム運営・プロガイド育成事業は委託先が田沢湖自然体験センターであり、自然体験プログラムのガイドを育成し誘客を推進していくものである。



補助金アップが望まれる河川愛護会

農林水産業費

問 就農支援施設導入事業費の補助金の内容について伺う。

答 離職者が転職で就農する際に施設を設置するものに対して1/2を支援するもので、最低1年以上就農することが条件で、全額県の補助となっている。この事業対象は、野菜、花果树、きのこなどである。

土木費

問 道路台帳整備について小松地区、小勝田地区はどうなっているか、又歩道用の除雪機械の保有

か。状況はこうなっている。

答 道路台帳整備の小松、小勝田は平成20年で終了している。歩道用除雪機械は、角館地区1台、西木地区1台、田沢湖地区2台となっている。角館地区にはもう1台リースしている。

陳情

◎角館町雲然山口地区の私有地払い下げについて
◎市道田中山口線延長拡幅改良工事について
◎市道の改良についてのお願い。
以上3件を継続審査とする



改良が待たれる狭隘な本町市道